

## 主要損害保険会社の令和4年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内事業では自動車保険の単価上昇等により、海外事業では料率引上げ等により、前年に比べともに増収。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、国内自然災害に係る損害の減少などから、前年に比べ増益。

（単位：億円）

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	前年比
正味収入保険料	99,976	100,310	107,125	6,814
経常利益	7,140	7,883	12,734	4,850
特別損益	▲ 1,702	▲ 1,485	▲ 314	1,170
親会社株主に帰属する当期純利益	5,253	4,486	9,081	4,594

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクが増加したことなどから、前年度末に比べ6.0%ポイント低下。

（単位：%）

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	747.3	770.0	764.0	▲ 6.0Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。